



花園だより

心豊かに たくましく 自ら学び 自ら律する 花園の子

E-mail: hanazono-s@edu.city.kyoto.jp TEL: 841-6900 FAX: 841-6904

育てたように子は育つ

この言葉は、親の行動や価値観が子どもの成長に大きな影響を与えるという意味で使われています。意図的に教えたりしつけたりすることだけでなく、普段の姿や行動、仕草を子どもがよく見て育つことを示しています。「こうしよう」「ああしよう」と指示する前に、まず自分自身の行動を振り返り、実践して“見せる”ことが大切です。完璧ではなく、成長し続ける姿勢を“見せる”…そんな姿も《教育》のひとつです。

夏休み明けそろそろ学校生活に身も心も戻ってきたことだと思います。
「育てたように子は育つ」を胸に毎日の積み重ねを大切にしていきます。



8月26日 始業式

元気な声が校舎に戻ってきました。夏休み中に行われた大会の表彰も行いました。

38日ぶりの登校で緊張した様子も見られましたが、2学期のスタートをよりよく切ることができました。



新しい教職員着任のお知らせ

2学期より、

個人情報のため伏せています。

の2名が新たに着任いたしました。改めて、教職員一丸となって花園小学校の子どもたちの教育を力強く推進していきます。

よろしくお願ひいたします。

放課まなび開講式(1年生)

花園小学校に入學して4か月。1年生の放課後まなび教室が開講しました。「自ら学ぶ」場所の放課後まなび教室。1年生も楽しく参加してほしいです。スタッフのみなさま、ありがとうございます。



予定変更のお知らせ

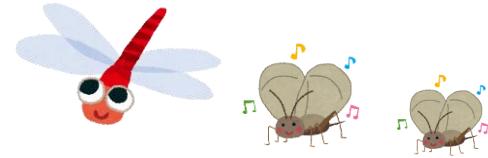
9月30日(火)運動会係活動とお知らせしていましたが、**クラブ活動**となります。4年生は下校時間が変わりますのでご留意ください。よろしくお願ひ致します。



学校教育目標

心豊かに
たくましく
自ら学び
自ら律する
花園の子

合言葉は…
アーラフ はなの！



全国学力・学習状況調査(6年生) 結果と考察

4月17日(木)に実施された、「全国学力・学習状況調査(国語・算数・理科)」について、結果と考察をお知らせします。

国語

「読むこと」に関する区分の内、思考力・判断力・表現力が問われるいくつかの設問の正答率が全市平均を上回っていました。その中でも、複数の資料に書かれていることを理由にして、正しくまとめている選択肢を選ぶ問題についての正答率が、全国平均より20ポイントも高かったです。これらは、読書ノートや親子読書など、常日頃から読書に親しむ様子から、文章の読解力につながる部分もあるかと思われます。また、声に出すことで脳への刺激を促すとされている“音読”的宿題の成果もつながる部分として挙げることができます。

一方で、「話すこと・聞くこと」の区分について、インタビューに関する問題においては、インタビューの目的を問われる設問で全国の平均を下回っていました。本校では“対話”について教職員でも学びを深めており、研究に努めています。コミュニケーション力の低下が指摘される昨今ですが、本校でもより一層日々の授業でも“対話”を積み重ねていこうと思います。

算数

「数と計算」「図形」の区分で、示された資料から必要な情報を選び、答えを求める問題において全国平均より約10ポイント上回る結果となりました。これは、普段から発展課題に取り組むにあたって、既存の知識をもとに必要な情報を取捨選択することの積み重ねだと思います。

一方で、「図形」の区分では、図形の角の大きさや作図にあたって辺の長さを選択する問題に課題が見られました。図形・空間認識力を高める問題との出会いについて、意図的に設定していく必要を感じています。また、児童質問の結果では、「どのように考えたのかについて説明をする活動を行っているか」という質問に対して、「よくできている」「おおむねできている」の割合が70%に留まっているという課題も見られました。今後の算数科の学習では、自分の考えを説明することへの苦手意識を「話したい」という自主的な意欲に繋げられるよう“対話”的な授業の設定が求められます。

理科

「生命」の領域で、「おしべとめしべについて選ぶ」「顕微鏡の使い方」など知識理解を問う内容について、全国平均を10ポイント以上上回る結果になりました。これは、児童質問の「理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか」に対して、「よく行っている」「おおむね行っている」が95%に達していることからも繋がっていると考えられます。授業での観察や実験は子どもたちの知識理解の定着につながります。

一方で、「エネルギー」の領域で回路図の理解に課題が見られました。実験をもとに「直列つなぎは強い電流が流れる」ということを理解していても、それが“回路図”になると難しく捉えてしまう傾向があるようです。実験をもとに、思考・判断する時間の確保が必要であると考えます。

本校の学校教育目標は「心豊かに たくましく 自ら学び 自ら律する 花園の子」です。一人一人が十分考える授業・思いや考えを話す授業・自ら振り返る授業を構築していきたいと思います。

今回の全国学力・学習状況調査の結果をもとに、日頃の学習活動において自分の考え方や思いを整理し、相手に文章で伝える機会、また自分の思いや考え方を友達に伝える機会をこれまで以上に増やし、その都度指導を行って参ります。その前提として、「わかる授業」「楽しい授業」づくりと「指導しきる」ことを通して、基礎・基本的な学習の定着を図り、目的意識をもって学習に取り組める素地づくりを通して、主体的な学習態度を育みます。

これからも、学校・家庭、そして地域の連携のもと、子どもたちの健やかな育ちと学びのよりよい環境づくりにむけてのご協力をよろしくお願ひいたします。